

科目名 (英)	講読演習	必修 選択	必修	年次	1、2	担当教員	
	(Seminar on Reading)	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60	開講区分	前期・後期
学科・コース	介護福祉士科					曜日・時限	火曜、4時限目
【授業の学習内容】 介護に関わる職業・職種・資格等の内容の理解を図り、進路目標や就職意識を高めるため、文献や事例、視聴覚教材等を通じて、専門職として必要な基本的資質を身に付けることができる。 ※実務者経験:①福祉施設等に所属していた。主業務は障害児者及び高齢者の介護業務を担当していた。※取得資格:介護福祉士 ②福祉施設等に所属していた。主業務は高齢者の介護及び相談支援業務を担当していた。※取得資格:介護福祉士・社会福祉士							
【到達目標】 挨拶、電話対応の方法など普段の生活の中で身に付けられるマナーなどの習得ができる。 社会人にとって必要な「社会人基礎力」や「チームワーク」、「リーダーシップ」、「フォロアシップ」などのスキルについての理解ができる。							

授業計画・内容	
1回目	「生活を理解する視点」…自己の生活歴を知り、自己の理解ができる。
2回目	「生活の場の特徴」…自己の現状の生活について理解ができる。
3回目	「生活構成要素」…自身の生活を取り巻く環境について理解ができる。
4回目	「生活経営の考え方」…自身の将来像を思い描くことで、キャリアデザインが理解できる。
5回目	「ICFの視点と生活支援」…ICFの基本的な考え方が理解できる。
6回目	「チームアプローチ」…他職種と多職種の違いとそれらとの連携について理解できる。
7回目	「介護予防について」…介護保険制度の概要について理解できる。
8回目	「生活における介護予防の視点」…高齢者の生活についてグループワークなどを通じて理解できる。
9回目	「レクリエーション」…ものづくり(クラフトレク)について、目的や実施効果などについて理解できる。
10回目	「福祉用具について①」…代表的な福祉用具とその種類について理解できる。
11回目	「福祉用具について①」…住宅改修の視点などについて理解できる。
12回目	「居住環境の整備①」…生活空間と介護の関係について理解できる。
13回目	「居住環境の整備②」…安心で快適な生活の場づくりについて理解できる。
14回目	「多職種との役割と協働」…多職種との連携の図り方について理解できる。
15回目	「前半のまとめ」…グループ発表を行うことで、プレゼンテーションについて理解できる。
16回目	プロの職業人を目指すにあたって必要な『自己革命』について理解できる。
17回目	プロの職業人を目指すにあたって必要な『行動の原則』について理解できる。
18回目	コミュニケーション、身だしなみの重要性について理解できる。
19回目	パソコン(ICTなど)を上手く活用するために必要な基礎知識について理解できる。
20回目	「チームマネジメント」…発信力、報連相、電話対応、傾聴姿勢、話す姿勢の基本について理解できる。
21回目	「チームマネジメント」…プレゼンテーションの技術について理解できる。
22回目	「チームマネジメント」…サービスマインド、コンプライアンスについて理解できる。
23回目	「対仕事 社会生活スキル」…問題解決の技法、情報収集とマーケティングの内容について理解できる。
24回目	「職業スキル」…職業人としての基礎知識、労働条件と職場環境について理解できる。
25回目	「職業スキル」…仕事に取り組む姿勢、身構え・気構え・心構え、自己啓発、責任感のついて理解できる。
26回目	「職業スキル」…職場の良好な人間関係の構築方法について理解できる。

27回目	チーム内コミュニケーションについて理解できる。
28回目	リーダーシップについて理解できる。
29回目	職業倫理について理解できる。
30回目	職業倫理について理解できる。
準備学習 時間外学習	時間外学習(復習)…各単元の講義後に確認テストを実施します。講義の復習が必要です。
評価方法	成績の評価は、「試験」の点数で100点満点とする。「試験」には科目試験や中間試験、小テスト等の臨時試験の評価などが含まれる。
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】	
教科書：コミュニケーションスキルアップ検定（滋慶教育科学研究所）	